



市立病院だより

ほほえみ



発行 越谷市立病院
 発行人 院長 津村 秀憲
 編集 院内情報誌編集委員会
 連絡先 〒343-8577 越谷市東越谷10-47-1
 電話 048-965-2221 (代)
 F A X 048-965-3019
 発行日 平成25年12月 (No.18)

お見舞いについて

副看護部長 下澤 幸江

病気お見舞いは、病気やけがが早く治る様にと励ますのが目的だと思います。入院と聞くと「じゃあお見舞い」とすぐ思ってしまうですが、入院直後や手術前後のお見舞いは、よほどの場合を除いては相手のことを考えて遠慮していただけたらと思います。



症状が辛い時、誰かに会うのはそれだけでストレスになってしまいます。あらかじめご家族の方に連絡を入れ、お見舞いが出来るかどうか確認してから伺いましょう。

ご自分の受診のついでに、お見舞いということもあるかと思いますが、患者様の治療と十分な安静のため、面会時間以外の

お見舞いはご遠慮下さい。

また、面会時間内でも他の患者様のご迷惑にならないよう短時間をお願い致します。

インフルエンザや感染性胃腸炎が流行した場合、感染拡大防止のため面会を制限させていただくことがあります。

面会時にはマスクを着用し、病棟・病室の入り口にあるアルコールで手指を消毒してから病室にお入り下さい。

お子様の面会

病院内には流行性感症で入院している患者様もいらっしゃいますので、抵抗力の弱い中学生以下のお子様のご面会をご遠慮いただいております。また風邪・下痢症状のある方は入院している患者様にうつしてしまう場合もございますので、症状が改善してからご面会下さい。

院内感染の防止にご協力をお願いいたします。

面会時間・方法

面会時間は、月曜日から金曜日は午後3時から午後8時まで、土曜・日曜・祝日は午後1時から午後8時までとなっております。

面会時は正面玄関・救急玄関の守衛の所で記帳をして、面会バッヂを着けて各病棟にお上がりください。

なお、駐車料金は、1時間以内は無料ですが30分ごとに100円かかりますのでご了承下さい。



また、個人情報保護法に基づき、患者情報に関するお問い合わせにはお答えしておりませんので、ご理解とご協力をお願い致します。

入院生活は心細いものです。家族・親族・友人の励ましやお顔を見るだけでも心強くなります。

お見舞いの際には、ルールを守っていただけますようお願いいたします。

「お見舞いメール」について

インターネットを活用して、入院中の患者様にお見舞い状を送ることができます。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

産科病棟がリニューアルしました

4-2病棟 看護師長 林 淳子



た、とても明るく、かわいらしい雰囲気になっていきます。

新しい産科病棟は、分娩室が全部で四室あります。以前はカーテンで間仕切りした一室に二台の分娩台がおかれていましたので、分娩が重なった時は苦慮していましたが、今は単独の陣痛分娩室となりました。夫立ち会いや、子供さんの



当院産科病棟

は、今年六月大規模な改装工事が終了し、ベッド数三十床の産科単科病棟として、リニューアルいたしました。病棟の内装は淡いピンクを基調とし



陣痛分娩室

立ち会いを、積極的に受け入れていきます。

分娩室の次に、私たち助産師の要望を聞き入れて作っていただいたのは、母親学級の会場としての「サロンルーム」で

す。優しく温もりを感じるコルクの床、星空を思わせる壁紙と天井（暗くすると蓄光で☆が光ります）そこに妊婦さんやパートナーの方が寝転び、全身をリラクセスさせ、イメージリーを行います。陣痛のイメージ・産道のイメージをしながらお腹にいる赤ちゃんを想像します。当院の母親学級「ママサロン」は、単に呼吸法の練習をするというのではなく、産む力、産まれてこようとする力のすばらしさをお話しし、妊婦さん自身が、「こんなお産がしたい。」と、ご自分のバー



サロンルーム

スプランが立てられるようなお手伝いをしていきます。妊娠三十週以降の受講をおすすめしています。事前予約が必要です。事前予約が必要ですので、健診にいらした時に申し込んで下さい。当日都合がつけば、夫やパートナーの方の参加も大歓迎です。また、帝王切



新生児室

る妊婦さんのみを対象としたママサロンも行っていて、少しでも不安無く手術に臨んでいただけるようにしています。

また、当院は母乳哺育にも力をいれております。入院中の赤ちゃんは、医学的に必要でないかぎり、安易にミルクをあげることはせず、赤ちゃんが欲しがったらおっぱいをあげる自律授乳を行っていきます。その為、分娩直後からの二十四時間母乳同室として、いつでもおっぱいを



授乳室

あげられる環境にしています。帝王切開で生まれた赤ちゃんも、翌日から母児同室にしています。



パウダールーム

た、退院した後の母乳育児支援として、母乳外来を開設し、退院後の不安やトラブルにも対応しています。



シャワールーム

す。入院中から、赤ちゃんのペースに慣れることで、「ちよつと大

変だったけど、退院してからの不安が少なくて良かった」といっています。また、母乳外

当院の産科病棟のスタッフは、全員助産師です。平成二十四年は、七百十件の分娩を取り扱わせていただきました。すべての方に越谷市立病院を選んで本当に良かったと思っています。心を入れて、『お・も・て・な・し』させていただきます。

産後の方が入院される病室は個室と大部屋があります。今回の改装の際に、個室の病床数を増やしまし

た。分娩予約をされる時に、お部屋のご希望をお伺いしますが、

自然分娩を基本としていますので、陣痛が始まって入院された時に、ご希望のお部屋が空いているとは限りません。空いているお部屋からお選びいただき、希望のお部屋は空き次第ご案内をさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。



病室

地下1階 放射線科へ検査・診察に行く患者様はご注意下さい

庶務課 長谷川 祐之

現在、院内の各階段において改修工事を行っており、地下放射線科にはエレベーターでしか行くことができません。

今後、医事課会計付近、リハビリテーション科、エネルギーセンターでも工事が行われます。

工事に伴う騒音・振動等
ご迷惑をお掛けいたしますが
ご協力をお願いいたします。



新採用医師の紹介

○10月1日付

(婦人科) 石黒 共人

編集後記

今年各地で台風や土砂崩れなど大きな災害があり越谷でも竜巻で被災されたりと、災害は突然やってきて大切な命や財産を奪ってしまいます。被災された方々のことを思うとともに心が痛みます。決して他人事ではありません、明日はわが身です。最後に残るのは自分の体、いつ降りかかるか分からない災害や困難に立ち向かうためにも日ごろから健康管理をしておきましょう。無事一年を過ごせたことに感謝して年末を向かえ、翌年は少しでも明るい新年を祝いたいものです。

院内情報誌編集委員長 尾羽澤 英子